

<対策のポイント>

担い手不足による生産基盤の脆弱化を踏まえ、**労働生産性の向上が見込まれる省力樹形や優良品目・品種への改植・新植等の取組**を支援するほか、労働生産性を抜本的に高めたモデル産地の育成を行うため、**まとまった面積での省力樹形・機械作業体系の導入に係る取組**に加え、**新たな担い手の確保・定着に資する取組等**を支援します。

<事業目標>

果実の生産量の拡大 (283万t [平成30年度] →308万t [令和12年度まで])

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 優良品目・品種、省力樹形の導入支援

優良品目・品種への改植・新植と、それに伴う未収益期間における幼木の管理に要する経費を支援します。特に、**平坦で作業性の良い水田等への新植、労働生産性の向上が見込まれる省力樹形の導入を推進**します。

【優良品目・品種、省力樹形の導入支援】

<省力樹形の例>

根域制限栽培(みかん)
密植・受光体勢の最適化で
慣行比2倍以上の単位収量



ジョイント栽培(なし)
従来の棚栽培と比較して
剪定作業時間40%短縮



<改植(括弧内は新植)の支援単価の例>

品目	慣行栽培	省力樹形栽培		未収益期間対策
		かんきつ	りんご	
かんきつ	23 (21) 万円/10a	111 (108) 万円/10a (根域制限栽培)	73 (71) 万円/10a (超高密植栽培)	5.5万円/10a ×4年分 ※ 幼木管理経費 (品目共通)
りんご	17 (15) 万円/10a	53 (52) 万円/10a (高密植低樹高栽培)	73 (71) 万円/10a (超高密植栽培)	
なし	17 (15) 万円/10a	33 (32) 万円/10a (ジョイント栽培)		

2. 果樹のモデル産地育成支援

① 新たな担い手への支援(新規)

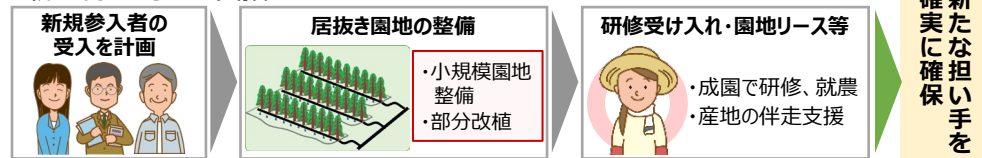
担い手の就農・定着のための産地の取組と併せて行い、**小規模園地整備や部分改植等の産地の新規参入者受入体制の整備**を一体的に支援します。

② 労働生産性を抜本的に高めるための面的支援

一定規模以上での水田の樹園地転換や既存産地の改良と併せて、**小規模園地整備、改植・新植、早期成園化や経営の継続・発展に係る取組等**を支援します。

【果樹のモデル産地育成支援】

<新たな担い手への支援>



3. 苗木・花粉供給体制整備への支援

省力樹形の導入等に必要苗木や国産花粉の安定生産・供給に向けた取組を支援します。

4. 国産果実の流通加工への支援(拡充)

慢性的な供給不足となっている加工・業務用等の国産果実の**省力的生産・出荷の実証等**の取組や、国産果実の供給が脆弱な**春期に出荷が可能な技術の導入**を支援します。

<労働生産性を抜本的に高めるための面的支援>



<事業の流れ>



持続的生産強化対策事業のうち 茶・薬用作物等支援対策

【令和5年度予算額 1,353 (1,367) 百万円】

<対策のポイント>

茶、薬用作物、甘味資源作物等の地域特産作物について、**様々な要因で変化する消費者や実需者のニーズに対応した高品質生産、産地の規模拡大、有機への転換、持続可能な生産体制の構築に向けた担い手の育成**などを強力に推進するため、**地域の実情に応じた生産体制の強化、国内外の需要の創出など生産から消費までの取組**を総合的に支援します。

<事業目標>

- 茶の生産量の増加（8.6万t [平成30年度] →9.9万t [令和12年度まで]）
- 茶の輸出額の増加（153億円 [平成30年] →312億円 [令和7年まで]）
- 薬用作物の栽培面積の拡大（550ha [平成30年度] →630ha [令和7年度まで]）

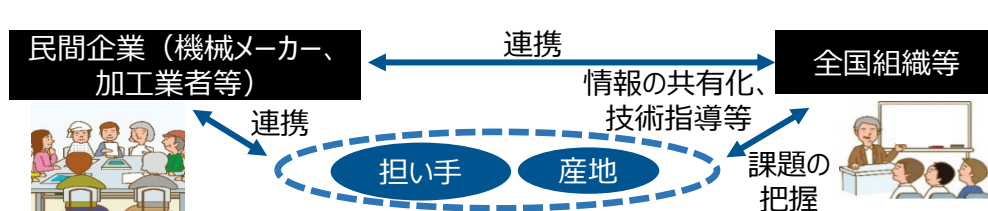
<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 全国的な支援体制の整備

茶や薬用作物等の地域特産作物の生産性の向上や高品質化等を図るため、全国組織等による**民間企業とのマッチング、機械・技術の改良、技術や経営の指導、需要拡大等**を行うための取組を支援します。

1. 全国的な支援体制の整備



2. 地域における取組の支援

新植や改植、有機栽培や輸出向け栽培等への転換、実証ほの設置等の生産体制の確立、省力化・低コスト化のための農業機械等の改良・リース導入、生産安定技術の確立、人材確保策の検討、消費者・実需者ニーズの把握、実需者等と連携した商品開発、製造・加工技術の確立、消費者等の理解促進等の取組を支援します。

※ 中山間地農業ルネサンス事業優先枠を設定

2. 地域における取組の支援

① 生産体制の強化

<茶の改植・新植等>



<抹茶原料等の生産に向けた栽培転換>



<実証ほの設置>



<機械等のリース導入>



② 需要の創出

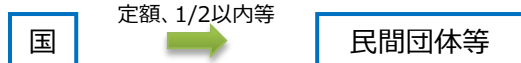
<ニーズ把握>



<商品開発>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農産局果樹・茶グループ (03-6744-2117)

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進（甘味資源作物等支援関連）

【令和5年度予算額 1,353（1,367）百万円の内数】

<対策のポイント>

甘味資源作物の持続可能な生産体制の構築に向け、**でん粉原料いもの生産性の高い栽培技術の確立**や**いもでん粉の需要の開拓**、需要の高い加工食品用途に対応した**国内産いもでん粉の品質向上**や**衛生管理の高度化**に資する取組、島内の地域資源を活用した資源循環体制の構築に向けた**グリーン化実証**など**さとうきびの持続的生産体制の構築に必要な実証的取組**、**労働生産性向上を図る農業機械の導入**等を支援します。

<事業目標>

- かんしょの生産量の増加（86万t [令和12年度まで]）
- ばれいしょの生産量の増加（239万t [令和12年度まで]）
- さとうきびの単収の向上・安定化（6,230kg/10a [令和7年度まで]）
- さとうきびの10a当たり労働時間の削減（30.9時間/10a [令和7年度まで]）

<事業の内容>

1. いもでん粉関係

- ① **でん粉原料用いもの適正生産技術等の確立や需要の開拓**
でん粉原料用いもの生産性の高い栽培技術の確立や、いもでん粉の新たな**需要開拓**を図るための実証的取組を支援します。
- ② **国内産いもでん粉の品質向上や衛生管理の高度化**
需要の高い加工食品用途に対応したでん粉の品質向上や衛生管理の高度化のための**品質管理機器等の導入**を支援します。

2. さとうきび関係

製糖工場等から発生するバガスや畜産由来の排せつ物など島内の有機資源を安定的に土づくりに活用するための**島内資源循環システムを構築する実証（グリーン化実証）**や、離島各地で応用可能な生産性向上に資する**技術的な栽培実証**、**作業受託組織・担い手の育成・強化に資する生産体制実証**など、**さとうきびの持続的な生産体制の構築に必要な実証的取組**を支援するとともに、省力化による労働生産性の向上を図るために必要な**農業機械等の導入**を支援します。

<事業の流れ> 定額、6/10以内、1/2以内



<事業イメージ>

いもでん粉関係

でん粉原料用いもの生産性の高い栽培技術の確立やでん粉の新たな需要開拓、加工食品用途に対応した国内産いもでん粉の品質向上や衛生管理の高度化のための取組を支援。

- ・ 病害に強い**新品種でん粉原料用いもの栽培実証**
- ・ 新たな需要開拓に向けた**でん粉の高品質化製造・加工技術の実証**
- ・ 加工食品用途に対応した国内産いもでん粉の**品質向上等に必要な検査機器の導入**等



さとうきび関係

さとうきびの持続的生産体制を構築するための実証的な取組を支援。

<実証例>



[お問い合わせ先] 農産局地域作物課 (03-3501-3814)